
「Fontan 手術前の体肺動脈側副血行路に対するコイル塞栓術後の発熱に関する検討」に関するお知らせ

このたび、当院でコイル治療を行った患者さんのデータを用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007 年 04 月 01 日から 2024 年 12 月 31 日の期間に【埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科】で、フォンタン手術前に心臓カテーテル治療として体肺動脈側副血行路に対しコイル塞栓術を行った患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

コイル治療後の発熱の有無を調査し、その要因を明らかにします。

3. 研究期間

病院長の許可後～ 2026 年 03 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から約 1 か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

※電子カルテから、コイル治療を行った患者さんの年齢、性別、基礎疾患、使用したコイルの種類と数、治療後の発熱の有無、発熱した場合には血液検査(白血球数・C 反応性蛋白)を抽出します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科】において、研究責任者である小島 拓朗が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

体肺動脈側副血行路に対するコイル塞栓術を行った患者さんの検査データおよび、診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科 小島拓朗(研究責任者)

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学国際医療センター】 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科 小島 拓朗

住所：〒350-0269 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111(代表) (土日祝日を除く 8:30~17:30)

メールアドレス：t_kojima “AT” saitama-med.ac.jp (“AT” を@に置き換えてください)

○研究課題名：Fontan 手術前の体肺動脈側副血行路に対するコイル塞栓術後の発熱に関する検討

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科 小島 拓朗